

階層別 最適化学習プランのご紹介



Precena Strategic Partners

Tokyo Office

**4-7-10 Iidabashi Central Bldg. 9F
Iidabashi Chiyodaku Tokyo, Japan 102-0072**

階層別最適化学習プランのご紹介

はじめに 当社が考える今後の人材育成のあり方

オンライン学習の普及により「単発」「集合」の形式にしばられず、1年や複数年といった、一定期間の中で複数回×短時間の「面」での学び方が主流となりつつあります

これまで

1年目

2年目

3年目



「点」での学習

- ✓ インputは一度きり
- ✓ せっかく集まったので1日～数日拘束

現在

1年目

2年目

3年目



職場での実践

復習

復習

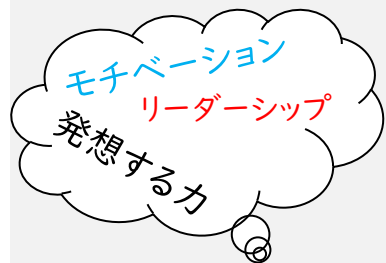
「面」での学習

- ✓ 期間通して学習と復習・実践を繰り返す
- ✓ 短時間・複数回で学ぶ

はじめに 当社が考える今後の人材育成のあり方

弊社では、各階層に必要な基礎スキルが定義されており、Eラーニングパックを活用することで、「必要なものを」「深く」学ぶことが可能になります

各階層に必要な基礎スキルを定義



管理職向け

スキルA

スキルB

スキルC

世にあふれるコンテンツの中から
各階層に必要な基礎スキルを定義

研修同等の「深い学び」を実現

演習に回答



講師に質問

実務においては
どう考えたらよいか？

演習回答や講師への質問により
深く理解できる設計

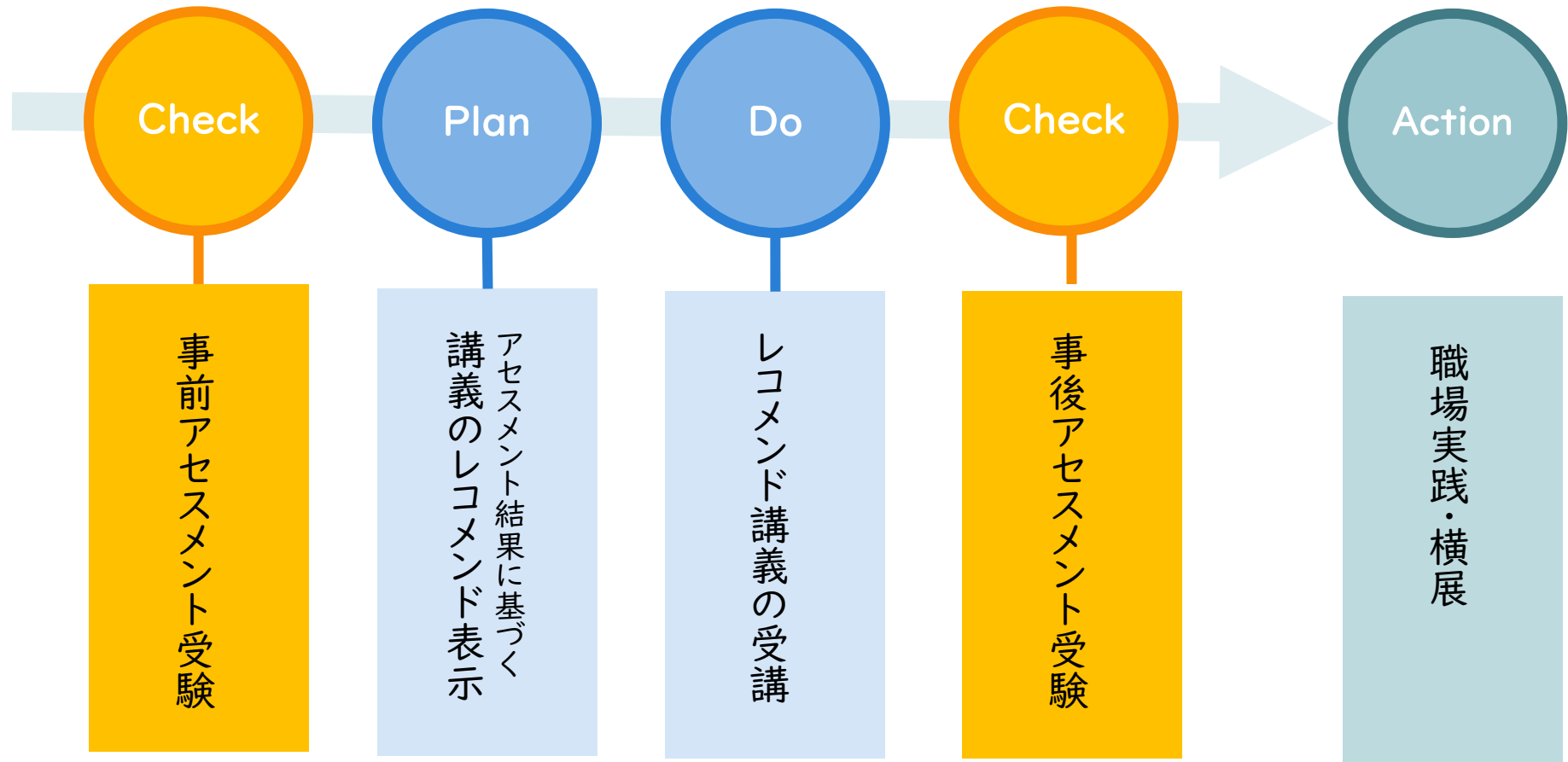
階層別の学習プランとして「パック」に集約



15年における育成支援企業としての知見を活かし、各階層に必要な基礎スキルを深く学べる「階層別最適化学習プラン」をご紹介します

最適化学習の効果的な学習サイクル

学習前・後にアセスメントを実施し実力を把握することで、自身の状態・強み・弱み・伸び(変化)が可視化されることで継続学習が可能となります



最適化学習プランでPDCAを実現

当社選定の「各階層に最適な」学習コンテンツ

当社推奨の階層別学習体系を基に、各階層に最適な学習科目をパッケージ化しました



階層別最適化学習 具体的なパッケージ内容

2024年8月現在、「若手パック」「中堅パック」「管理職候補パック」の3種類から選んで学習することが可能です

① 若手パック

学習開始前の実力診断テスト

- ロジカルシンキング
(基礎・ピラミッド構造・演習パック)
- ロジカルライティング
- ロジカルプレゼンテーション
- 発生型問題解決
(基礎・企業ケース)
- ファクト思考(データ分析)
- 段取り力

学習完了時の実力診断テスト

② 中堅パック

学習開始前の実力診断テスト

- 目標設定型問題解決
(基礎・企業ケース・演習パック)
- 仮説思考
(基礎・企業ケース)
- アカウンティング
- マーケティング
- リーダーシップ

学習完了時の実力診断テスト

③ 管理職候補パック

学習開始前の実力診断テスト

- 課題設定型問題解決
- ファイナンス
- 経営戦略
- 組織マネジメント
- メンバー指導
- 評価者研修

学習完了時の実力診断テスト

コンテンツイメージ

組み合わせ導入のイメージ

実践ワークショップ型研修との組み合わせ

基本的な考え方は「階層別最適化パック」で学習。「学んだ内容をどのように実務で活かすか？」を理解するためのワークショップ型研修で学ぶ

【最適化学習パック】

- ・スキルA
- ・スキルB
- ・スキルC……



学習後

実務でどう考える？

こんなアイデアはどうだろうか？



応用科目や個別スキル学習との組み合わせ

「階層別最適化パック」での学びをベースに、個社ごとに必要となるスキルや知識は追加でインプット

【最適化学習パック】

- ・スキルA
- ・スキルB
- ・スキルC……



学習後

追加で必要なスキル

スキルD

スキルE

スキルF

スキルG

「実務テーマ検討」や「メンバーとの議論」の機会をより効率的に創出することが可能に

前提となるスキルが揃うため「応用的な科目」や「個別に必要なとされる知識」のインプットに広げやすくなる

導入事例 一部上場企業A社様

Case

コンピテンシーに基づき階層別に求められるスキルを
網羅的・効率的に教育したい



導入前の状態

- 全社的な階層別教育を行いたいが、社員規模が大きく、コストが大きすぎる
- 集合研修で教育を行う場合、全国に社員がいるため、物理的に困難
- 階層ごとに求められるスキルを、バラバラに教育していたため、教育の一貫性がない

導入のプラン

- 階層別教育（昇格時研修）として導入
- 約400名（部長級・課長級・中堅・若手）を対象に実施
- 対象科目は若手層・中堅層・管理職層向けのコンテンツを展開
- 受講後の学習コンテンツとして、希望者を対象とした個人向けオンライン研修とも連携

人事・受講者の声

（人事）

- 階層別に求められるスキル教育を、網羅的且つ効率的に実現できた
- 全社的に一貫性のある教育ができて共通言語化が促進された

（受講生）

- 演習に回答しながら解説を聞く流れで、理解が深まりやすい
- 事前事後のアセスメントも有り、課題や理解度が把握できて、成長に繋がった

事前・事後アセスメント 受講者画面イメージ

診断受験・結果のイメージ【受講生】

ビジネスによくあるケースを用い、「考え方を理解しているか」を測定可能です



サンプル(出題画面)

△ 診断受検中は画面の再読み込みを行わないでください。再描画を行う

設問9

大手菓子メーカーの商品開発部門で担当として働くあなたは、マーケティングの責任者から次のような質問を受けた。最も適切な回答を選択肢から1つ選びなさい。

「女性をターゲットとした新商品を開発するために、まずは消費者のニーズを把握したい。どんな方法が考えられるだろうか？」

選択肢

他社商品も含めて、近年女性によく売れている人気商品をリストアップし、商品に共通する特徴を見つけ出してはどうか。

考え得るニーズの仮説を洗い出した上で、その仮説が正しいかどうか、他の仮説がないかについて、一般女性向けの世代別アンケートで調査してはどうか。

高校生・大学生がよく購読する雑誌に協力を依頼し、トレンドに敏感な高校生と大学生へのグループインタビューを実施してはどうか。

近年消費者ニーズは多様化しており、菓子メーカーでは同じお菓子であっても、内容量だけを変えた複数のパッケージを売り出しているようだ。

< 前の設問に戻る

次の設問へ進む >

知識の有無ではなく、考え方を理解しているかを問う設問

問題の残り時間と自身の回答数を比較して確認

各科目の学習ポイントに沿った出題

四択式で回答

4:29/90

8/50

設問回答状況

未回答 回答済み あとで見直す

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

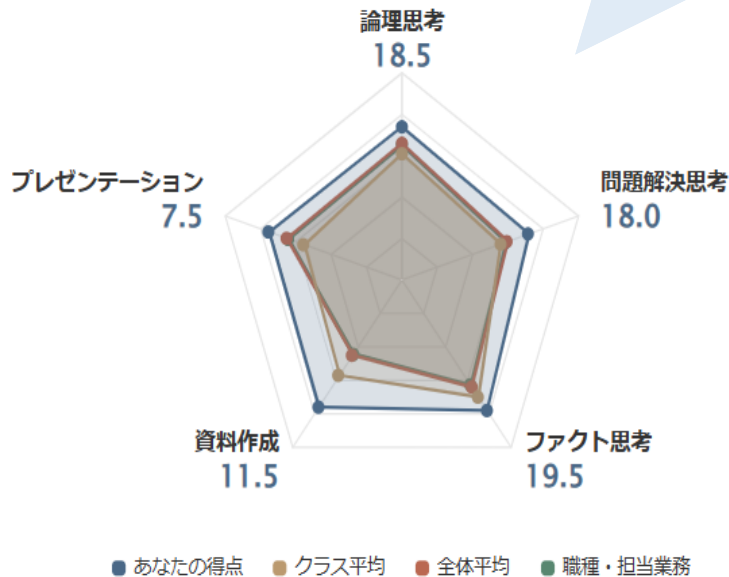
あとで見直す

診断受験・結果のイメージ【受講生】

結果帳票は、各スキルの習得度合いの確認や他受講者との得点比較をすることができます

サンプル(個別レポート)

若手パック総合診断



各科目の習得度合いをレーダーチャートで定量化・可視化

印刷をして結果を一覧で確認することも可能



印刷する

総得点

■ あなたの得点

75/100

■ クラス平均 ■ 全体平均 ■ 職種・担当業務平均

61/100 61/100 60/100

全体総評

仕事を効率的かつ効果的に進める上で基盤となる思考力が高いレベルで身につけているようです。仕事においては多くの情報やデータを扱うため、それらをわかりやすく構造的に整理したり、論点に対する意味のある示唆を導き出すことが求められます。また、日々の仕事は問題解決の積み重ねであり、問題を解決するための対策を効果的かつ効率的に導き出すことが必要です。最後に、検討した内容を効果的に相手に伝えるプレゼンテーションも欠かすことはできません。これらの実践に欠かせないビジネススキルの思考力について、一部苦手な分野もあるようなので、実践する中で伸ばしていきましょう。

あなたと同じ職種・担当業務：**営業職(法人担当)**の平均

⊗ 比較を解除

自身と同じクラス・業界・年次・職種の平均点と比較可能

総評を確認し、自身のスキルレベルの全体像を把握

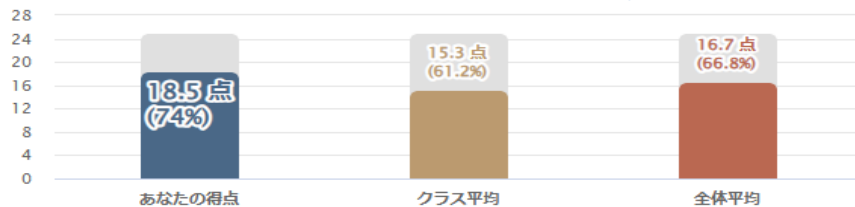
診断受験・結果のイメージ【受講生】

各学習ポイントに関して、他受講者との得点比較や、詳細なアドバイスの確認ができます

サンプル(個別レポート)

論理思考 ★★★★★☆☆

得点



定義

論理思考とは、自分の主張を相手に伝えて相手に納得して動いてもらうための論理を構築するスキルです。頭の中で論理を構造化できると、文章などの書くアウトプットや口頭報告などの話すアウトプットに活用することが可能となります。すべてのビジネスパーソンに必要な、仕事を進める上で欠かせない基盤となるスキルです。

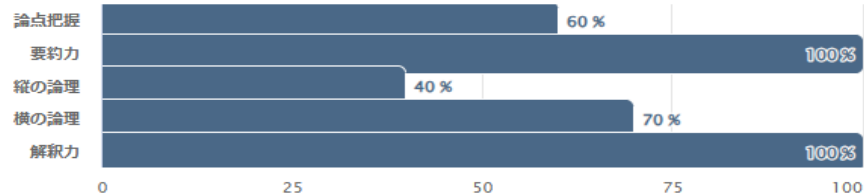
総評

論理思考の基本についてはよくできています。実ビジネスでの活用も、かなりできていると思われます。ただ、まだまだ弱い部分や、自分で気がついていない思考の癖があるようですので、診断結果を参考に弱点克服を目指して下さい。実際のビジネスで、自由自在に論理思考を活用できるレベルを目指してがんばりましょう。

おすすめの学習法

- 論理思考復習 ロジック7Daysチャレンジ
- 論理思考応用 ロジックカルライティング
- 論理思考
- 論理思考応用 ロジカルプレゼンテーション

学習ポイントにおける自身の得点と、他の受講者の得点を比較可能



学習のポイント	詳細
論点把握	収集した情報や会議の論点を的確に捉えて、論点に合った主張や反論を展開する力です。相手の発言や会議での議論において、論点は何か、何を問われているのかなどを確認して、偏った論点の把握となったり、質問された際に別の論点に答えないように、気をつけることが重要です。
要約力	複数の情報を共通項でグルーピングし、端的にキーワードで表現し、その挙げられた複数のキーワードのレベル感を揃える力です。グルーピングの定義があいまいだったり、キーワードのレベル感が合っていないと、思った通りに相手には伝わらない可能性があります。数多くの情報を整理する場合は、グルーピングやキーワードづけを意識しましょう。
	主張に対して、妥当かつ必要十分な論拠を挙げて、説得力のある論理を展開する力です。主張に対して論拠がある

学習ポイントについて、詳細な説明と実務におけるアドバイスが表示される

管理者画面イメージ

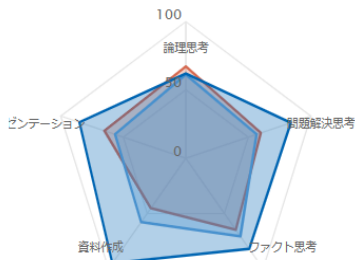
診断受験・結果のイメージ【お客様側管理者】

管理者は、全体傾向から個別の詳細な結果まで、幅広いデータを閲覧・分析可能です

サンプル(管理者レポート:全体傾向)

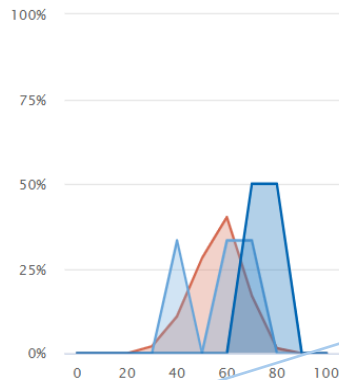
診断結果分析(若手パック総合診断日本語版)

平均点比較



- 全受検者 平均
- 事前診断 クラス平均
- 若手パック総合診断 クラス平均
- 事後診断 クラス平均

得点分布比較



- 全受検者 分布
- 事前診断 クラス分布
- 若手パック総合診断 クラス分布
- 事後診断 クラス分布

得点一覧

すべて表示

平均点	最高点	最低点
61.3	75	44

上位10名

氏名	得点	受検日
	75	2024-06-10



管理者

受講者の最高点・最低点・
得点分布・平均点まで
幅広く確認できる

設定

クラス内での比較設定

診断の言語	<input checked="" type="radio"/> 日本語 <input type="radio"/> English
分析対象のメイン診断	若手パック総合診断 2024-02-09~2024-11-08 ✕
比較する事前診断	診断を選択 ▾
比較する事後診断	若手パック総合診断 2024-02-09~2024-11-08 ✕

クラス外との比較設定

職位・年次	職位・年次で絞り込む ▾
職種・担当業務	営業職(個人担当) ✕
職業・業界	総合商社 ✕
自社(連結)の社員数	自社(連結)の社員数で絞り込む ▾

様々な業界や年次の
クラス平均と比較可能

✕ 閉じる

この条件で比較する

診断受験・結果のイメージ【お客様側管理者】

CSVファイルでダウンロードし、自社内で追加的な分析を行うことも可能です

サンプル(管理者レポート:個別得点)

若手パック総合診断得点一覧詳細

平均点 61.3 | 最高点 75 | 最低点 44

平均点等、重要なデータが要約されて確認できる

CSVダウンロード

氏名 メールアドレス	受験日	合計点	レポート	各スキル項目の得点				
				論理思考	問題解決思考	ファクト思考	資料作成	プレゼンテーション
	2024-06-10	75		18.5	18.0	19.5	11.5	7.5
	2024-02-09	65		20.0	11.0			7.5

CSV形式でダウンロードが可能



サンプル(CSV)

report (9).csv

検索

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 自動化 開発 ヘルプ Acrobat

貼り付け

クリップボード

フォント

配置

数値

スタイル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	受講者	メールアドレス	受験日	得点	論理思考	問題解決思考	ファクト思考	資料作成	プレゼンテーション
2	ABC	gmail.com	#####	75	18.5	18	19.5	11.5	7.5
3	DEF	gmail.com	#####	65	20	11	19.5	7	7.5
4	GHI	gmail.com	#####	44	7.5	13.5	14	7.5	2



各受講者の診断結果
詳細も閲覧可能

弊社Eラーニング (PLS) について

PLSのeラーニングとは

PLS eラーニングとは、弊社が提供しているビジネススキル研修を動画コンテンツ化し、自社開発のオンラインプラットフォームで学んでいただけるサービスです



学習クラスにエントリー



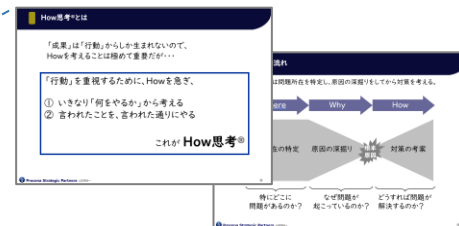
弊社独自の オンラインプラットフォーム

「飛ばし見不可」「演習への回答記述が必要」なプラットフォームで学習



弊社オリジナル教材

研修で使用する講義資料をベースにeラーニングに合わせて最適化



弊社内製講師

弊社の内製講師が動画内の講師として解説



PLS eラーニング 4つの特徴

研修同等の
深い理解と気づきを提供

演習に回答を記述しながら学ぶため、流し見はできません。「よくある間違い例」や他の受講者の回答に触れることで、研修同等の「深い学び」が得られます。また、5年間受講可能なため繰り返し学ぶことも可能です。

仲間と共に学ぶことで
学ぶモチベーションを喚起

自身の回答に対して他の受講者からリアクションを貰えることで「学ぶ意欲」を喚起。また、「一人ではない」安心感が醸成され、「仲間と共に学んでいる感覚」を感じてもらうことができます。

研修との組み合わせや
目的に応じた細かなコンテンツ選択
が可能

研修の事前課題や復習用としても活用可能。学ばせたい範囲や目的に応じて、数多くの動画モジュールから最適な組み合わせを選択し、研修効果を最大化することも可能です。

管理者による受講者の進捗や
回答内容の把握、
着実な学習の管理・支援が可能

受講者がどの程度視聴済か、またどのような回答を記述しているのかを、全て管理者画面により確認ができるため、受講者の着実な学習への管理・支援が可能です

特許取得 弊社PLS eラーニングの学習メカニズム

- 動画の中に、演習指示が混ざって出てくる
- 回答ボックスに「記録しながら」受講する
- 回答した内容は、人事・講師がすぐに確認出来る
- 回答していないことも、記録される
- 初回は早送りが出来ない



PLSのeラーニングは「流し見」が出来ない設計。
気を抜かずしっかり考えながら見なければならない。

《参考 ~ 当該メカニズムに基づくPLSの特許取得内容》

平成28年11月24日 特許番号 特許第6031010号

出願人 株式会社プレセナ・ストラテジック・パートナーズ 発明者 高田貴久

【課題】

受講者に受講開始から受講終了まで集中力やモチベーションを常に高く保つことができるようにするとともに、管理者側としても受講者の履修状況を的確に把握できるようにするウェブラーニングシステムを提供する。

【請求項の要約】

- 動画の中に演習指示を入れて配信し、回答を記録する
- 回答しても、しなくても、先に進む
- 回答がなかったら、回答がなかった旨を記録する

特徴の詳細

「引き出し学習」と「手順学習」

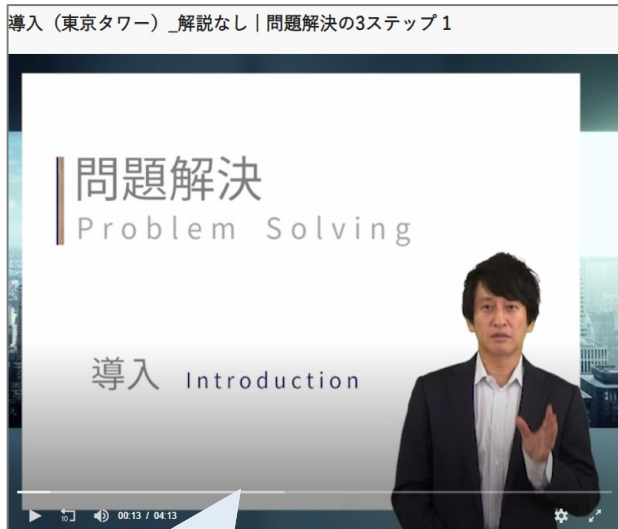
eラーニングには「引き出し学習」と「手順学習」の2パターンがあり、受講者のレベルや目的によって使い分ける必要があります。

	引き出し学習	手順学習
コンセプト	広く浅く、科目ごとのポイントを学べる	ポイントだけではなく、具体的なHowToも学べる
具体例	味噌と醤油と豚肉を渡し、すぐ回鍋肉を作らせる	回鍋肉を作るにはまずフライパンをコンロにおき油を敷きましょう!と伝える
メリット	スキマ時間で広い範囲のポイント学習が可能	結局実務でどう使えばいいのかまで学習可能
デメリット	知ったことをすぐ応用できる優秀な人以外は、有効活用しづらい	できるレベルに達するまでの時間がかかる

演習に回答しながら深く学べる

講義を受講

導入（東京タワー）_解説なし | 問題解決の3ステップ 1



問題解決
Problem Solving

導入 Introduction

- 講義の動画は飛ばし見することができません

演習（回答入力）

導入（東京タワー）_解説なし | 問題解決の3ステップ 1

【演習】問題解決力チェック

あなたは、東京タワーを運営する会社の社長から、次のような依頼を受けました

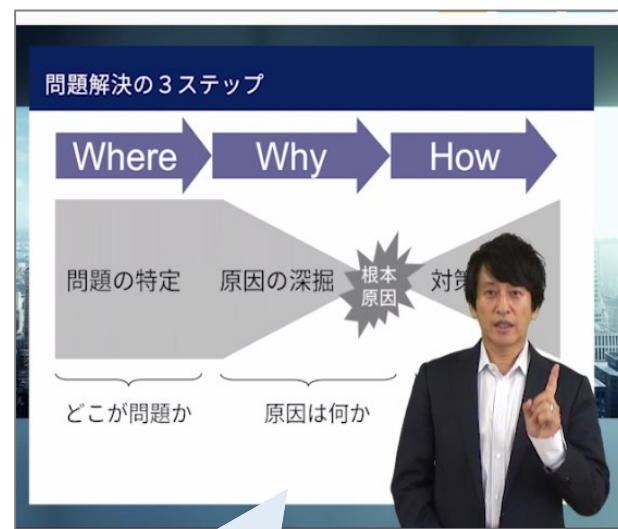
「最近、東京タワーの売上が低下してきて困っている。売上を回復させるにはどうすれば良いだろうか？」

- ※ あえて「漠然とした」依頼にしています
- ※ 考えられる答えを思いつく限り書いて下さい。
- ※ 文章の長さ、改行などは問いません。

回答ボックスに記入 制限時間 3 min.

解説を視聴（振り返り）

問題解決の3ステップ



Where → Why → How

問題の特定 原因の深掘 根本原因 対策

どこが問題か 原因は何か

- よくある間違い例の解説をもとに自身の回答を振り返りできます

導入（東京タワー）_解説なし | 問題解決の3ステップ 1

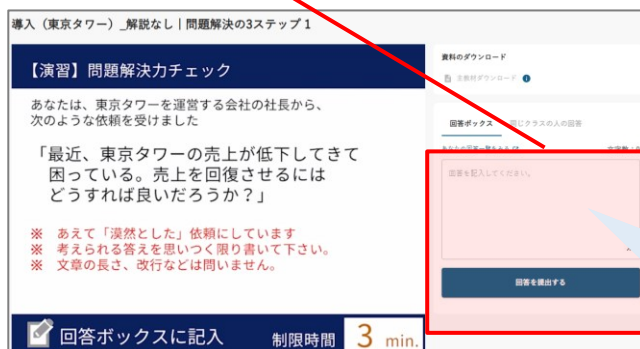
【演習】問題解決力チェック

あなたは、東京タワーを運営する会社の社長から、次のような依頼を受けました

「最近、東京タワーの売上が低下してきて困っている。売上を回復させるにはどうすれば良いだろうか？」

- ※ あえて「漠然とした」依頼にしています
- ※ 考えられる答えを思いつく限り書いて下さい。
- ※ 文章の長さ、改行などは問いません。

回答ボックスに記入 制限時間 3 min.



- 演習は回答ボックスに回答を記入します



演習がランダムに出題されるため「流し見」ができない設計。
自身の演習回答とよくある間違い例・講師の解説をもとに振り返ることで、
深く学ぶことが可能

講師への質問機能により、腹落ちするまでじっくり学べる

質問および回答

タイトル 漏れをなくすための方法は？

質問者

質問 講義では全体を見るべき、との説明がありましたが、どのようにしたら全体を網羅があれば教えてください。

回答 全体を網羅しやすくするための方法を以下の通りご紹介いたします。

■ トップダウンで見る

先に枠を決めて、その中で見ていくというやり方です。

ここではいわゆるフレームワークが役立つと思います。例えば「3C」や「4P」などもあれば「国内・海外」、「平日・休日」などのような対立概念を含んだ身近なフレームワークは何かがあるのか？を棚卸することも非常に有効かと思

ではこれをどのように身につけるのか？ということですが、ここは日々の積み重ねで学ぶこともできますし、インターネットで調べることもできます。もしもフレームワークは何があるのか？を棚卸することも非常に有効かと思

■ ボトムアップで見る

これは演習の考え方に近いですが、1つアイデアが出てきた際にそれを基にして「対立するアイデア」

- 疑問点は「講師への質問機能」で質問することができます
- クラス内の質問や回答も閲覧が可能です

- 弊社専任講師が丁寧に回答・解説します
- 5営業日以内を目途に回答します



不明点や実務での活用方法は講師に質問が可能。弊社専任講師からのきめ細やかな回答・解説により、受講者が「腹落ち」できるまで寄り添うことができる

リアクション機能により集中力が高まり、理解度が可視化される

The screenshot shows the PLS interface. At the top, there are navigation icons and user information. The main content area is titled "論理の構造化_解説なし | 論理とはなにか 動画1". Below the title, there is a section for "【演習】 論理的な主張を書く". The video player shows a video with a progress bar at 01:34 / 11:39. Below the video, there is a reaction timeline graph showing the reactions of all students. The graph has two lines: a blue line for "わかった" (I understood) and a red line for "わからない" (I don't understand). The graph shows peaks and troughs, indicating when students reacted. A red box highlights the reaction timeline area.

- 全受講者のリアクションのタイムラインが表示されます
- 自身のリアクションも瞬時にグラフに反映されます

- 受講中に「わかった」「わからない」をリアクションできます



リアクションしながら受講することで、より学習に集中することができ「**疑問に感じた部分**」も記録することが可能。
また、他の受講者との**比較により自身の理解度が可視化**される



他者の回答と見比べることにより「気づき・刺激」が得られる

PLS Precena Learning System

3つを捨ててシンプルなチャートを作る | 演習: チャートの良くない点を指摘する 1

スライド作成の流れ

まずは「メッセージ」を明確にした上で、それを支える情報を「チャート」に落とし、一枚のスライドにまとめる。

1. メッセージ 2. チャート 3. スライド

「そのスライドで伝えたいこと」を視覚的に表現した「表・グラフ・絵・文字など」

伝えたいことを視覚的に表現した「表・グラフ・絵・文字など」

メッセージを「チャート」に落とし、一枚のスライドにまとめる。

資料のダウンロード

未読材料ダウンロード

既読材料ダウンロード

回答ボックス 同じクラスの人々の回答

理由となる事実が文章で読みにくい
事業の特性の違いを掴み取れない
コアコンピタンスのシナジーがないとあるが、その事実がない
図が二つ入っている
原色の背景と黒の文字が見にくい
理由となる事実が挙げられていない、どういふ狙いがあるのかわからない
上記の結論を吹き出しが内容が被って無駄
全体的なスライドと図の配置が見にくく、どこから見ていいかわからない
売上高の推移の図に開
売上高の推移の図が小
売上高の推移の図が推
売上高の推移の図が推
売上高の推移の図が推
売上高の推移の図の色使いがらついて見にくい
利益率と一人当たりの売上高の数字がわからず、本日に離れているのかわからない
利益率と一人当たりの売上高の図が結果何を表すのかわからない
これらのデータが別会社へと独立する根拠となる理由がわからない

レイアウトがみにくい
どこ見ればよいかわからない
グラフが何を指しているのか不明
テキスト内容とグラフの関係性が不明
吹き出しが意味不明、結論であれば理由となる事実

全読者の反応 (リアクション) のタイムライン

次へ進む

講師に質問する

© 2024 Precena Strategic Partners. All rights reserved.

回答ボックス 同じクラスの人々の回答



- ・上記の結論と吹き出しが内容が被って無駄
- ・全体的なスライドと図の配置が見にくく、どこから見ていいかわからない
- ・売上高の推移の図に開
- ・売上高の推移の図が小
- ・売上高の推移の図が推
- ・売上高の推移の図が推
- ・売上高の推移の図が推
- ・売上高の推移の図の色
- ・利益率と一人当たりの当に離れているのかわか
- ・利益率と一人当たりの売上高の図が結果何を表かがわからない
- ・これらのデータが別会社へと独立する根拠とな理由がわからない

・回答欄からは、クラス内の受講者の回答も閲覧できます。また、良いと思った回答には「キャンディ」を送ることが可能です
※自身の回答前に他の受講者回答を閲覧することはできません
※回答者の氏名は表示されません

15



自分の回答と「他の受講者の回答」を見比べることにより、異なる視点の気づきや刺激を得ることが可能。

※PLS eラーニング(ライト版)には「キャンディ」機能はございません

「キャンディ」獲得によるモチベーションの向上

動画	回答
論理的とは何か1	私はY戦略を採用することを提案します 👍 10 2024/04/10 12:00
	私はX戦略を採用することを提案します。 👍 10 2024/04/10 12:00
	データが示す傾向に基づいています。データによれば、Xが最も効果的な解決策となります。データが示す傾向に基づいています。データによれば、Xが最も効果的な解決策となります。 👍 10 2024/04/10 12:00
	私はY戦略を採用することを提案します 👍 0 2024/04/10 12:00
論理的とは何か2	データが示す傾向に基づいています。データによれば、Xが最も効果的な解決策となります。 👍 0 2024/04/10 12:00 ほかの人の回答を見る
論理の構造化	🚫 未回答です ほかの人の回答を見る
構造化のメリット	— ほかの人の回答を見る

• 自分の回答に送られたキャンディの数が一覧で確認できます

• クラス内の他の受講者の回答も一覧で見ることができます
※自身の回答前に他の受講者回答を閲覧することはできません
※回答者の氏名は表示されません



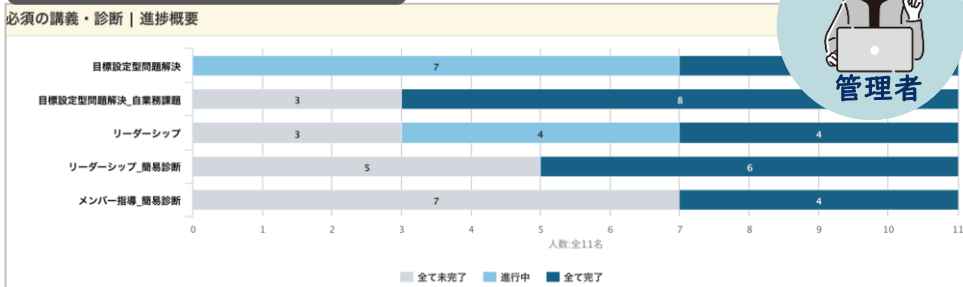
相互に「キャンディ」を送りあうことで、**学習のモチベーションが向上。**
また一人で学ぶのではなく、「仲間と共に学んでいる」感覚も醸成できる

※PLS eラーニング(ライト版)には「キャンディ」機能はございません

PLS (当社Eラーニング) の画面イメージ 【管理者】

下記3つの機能を有することによって、受講管理を容易にし、「逃げられないEラーニング」を実現しています

サンプル(進捗管理画面)



サンプル(回答確認画面)

プレセナ太郎
2020-04-11 15:23:53

- ・しっかりと挨拶が
- ・納期を過ぎる。
- ・マナー、礼儀がよくな

プレセナ花子
2020-04-11 10:55:19

森岡先輩から資料の作成を頼まれた際に、その資料の目的や注意すべき点を質問しなかったこと。

プレセナ次郎
2020-04-10 09:12:05

- ・不明点を細かく森岡先輩に聞く行動をしておらず、全ての工程を「わからないまま」進めてしまっていた。
- ・意図や要点を理解していないまま、資料作成を進めてしまっていた。
- ・自身の仕事が、ホチキス留め等で終わると思っており、主体性がなかった。



《機能①》

- ・誰がどの動画を視聴済みかが一目瞭然に分かる

《機能③》

- ・誰がどの設問にどのような回答をしたのかが把握できる

《機能②》

- ・誰がどの設問に回答済みかが一目瞭然に分かる

導入 (東京リフォーム) _ 解説部分	What (東京リフォーム) _ 解説なし	What (東京リフォーム) _ 解説部分	Where (東京リフォーム) _ 解説なし
推奨期限: 2025/02/07 回答確認 完了 9/11	推奨期限: 2025/02/07 回答確認 完了 10/11	推奨期限: 2025/02/07 回答確認 完了 11/11	推奨期限: 2025/02/07 回答確認 完了 6/11
1/1 1/1	3/3 3/3	1/1 1/1	2/2 2/2
1/1 1/1	3/3 2/3	1/1 1/1	1/2 1/1
1/1 0/1	3/3 3/3	1/1 1/1	2/2 1/2
1/1 1/1	3/3 3/3	1/1 1/1	2/2 2/2

講義動画受講状況	講義設問回答状況
<ul style="list-style-type: none"> ■ 期限内に受講 ■ 期限を過ぎて受講 	回答数/設問数
受講数/講義数	

ご提供価格

階層別最適化学習 ご提供価格

同時利用ID数が増えるほどにお得になる料金体系です

若手パック

中堅パック

管理職候補パック

12.5万円/ID

14万円/ID

10万円/ID

コンテンツ通常価格
(PLS+事前事後アセスメント)

最適化学習プランなら...

1~20ID

5万円/ID

5万円/ID

5万円/ID

21~200ID

4万円/ID

4万円/ID

4万円/ID

201~ID

3万円/ID

3万円/ID

3万円/ID

例) 250ID購入の場合、

20ID×5万円 + 180ID×4万円 + 50ID×3万円 =970万円/250ID

1IDあたり3.8万円/年で2.5~3.5倍程度の定価の内容を学習可能になります